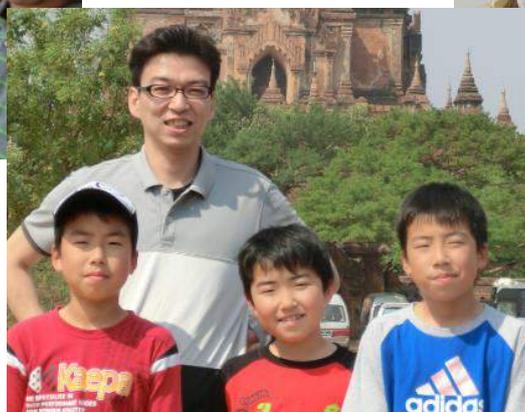


# 第19回 日本ミャンマー豊友会 スタディツアー

(期間 H26. 3. 26 ~ 3. 31)

## 感想文



今井 蓮(レン)12歳 ・ 凜(リン)12歳 ・ 志(ココロ)9歳 ・ 孔明(コウメイ)40歳

2014年 4月10日

《近藤様、山口様、ご一緒させていただいた皆様へ》

この度は素晴らしいスタディツアーに参加させていただき、誠に有難うございました。

お蔭様で子ども達にとっても私にとっても、大変貴重な体験となりました。近藤様、山口様はじめ、皆様には、子ども達に大変よくしていただき、心より感謝申し上げます。

子ども達にとっては、初の海外旅行、初の男同士の旅ではございましたが、大きな刺激と学び、何かしらの自信になったのではないかと感じています。

3人の子ども達には、毎晩その日の感想を書いてもらいながら、いろいろと話をしました。まだまだ小学生だからと思っておりましたが、ツアー中にいろいろとお役目をいただき、それに取り組む姿をみていると、私の知らなかった一面もたくさん垣間見え、子供の成長を感じさせていただき、本当に嬉しいツアーでもありました。

3年前に一度ツアーに参加させていただき、2回目の参加となりましたが、初めての時とは違い、落ち着いてじっくりと物事を感じさせていただく事もできました。改めて近藤様はじめとする皆様の継続的なご尽力に只々頭が下がる思いでいっぱいです。

うまく表現できませんが、日本では当たり前となっている常識や技術、また見失ってしまいがちな心の豊かさと、ミャンマーの人々に深く根付いた心の豊かさとの相互交流により、お互いに必要な大切なものを自立的に得られる貴重なツアーに感じました。子ども達も直接ミャンマーの子どもさん達とふれあい、何かしら感じ取ってくれた様に思います。

私も国と国との関係だけでなく、人と人との関係においても、この相互関係の貴重な関わり方を活かしていきたいと思います。

またもしミャンマーの子供さんが来日した際には、日本人として恥ずかしくない様に感謝を持って関わりたいと思います。

今後のツアーに際し感じた事は、もし子供さんが参加される場合、今回同様積極的にお役目をさせていただく事は本当に大切に思いました。また子供さんも思っている以上に大人たちの話を素直によく聞いており、理解していると感じます。ぜひ積極的に大人たちとの交流の場においても、少しでも考え、発言できる場を与えてあげて欲しいと思いました。

最後に、私には現在3歳の四男がおります。ぜひこの子が小学3年生くらいになった際に、今度は家族全員でもう一度ツアーに参加させていただきたいと考えております。

微力ながら、この日本ミャンマー豊友会の継続的な活動の為、何か私にできる事はぜひご協力させていただきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

下記に、子ども達の「感想文」がございます。

字が読みづらいかと思いますが、そのままの文字の方がよいと思い、そのまま添付させていただきます。

この度は大変お世話になり、誠に有難うございました。

(株) アリス 今井 孔明 40歳

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井 蓮

年齢 12才

3/26(水)

ヤンゴン



まず、空港について、日本との温度の差にびっくりしました。とても暑いです。

そして、何より夕食が、独特の味でした。中華料理に、味も似ていました。

あと、初めて、外国人の子供としっかり話す機会が、とてもためになりました。

もっと英語をうまくなりたいと思いました。

他にもいろいろびっくりした事が

たくさんありましたか、日本に住んでいる事が、とてもせいたくに思えました。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井 蓮

年齢 12才

3/27(木)

バガン

No. 2

2日目は、特に外国人とビルマ言語や英語でしゃべる機会が多く、とても楽しかったです。話が通じるととても達成感があり、とても着語がうまくなりたいと思いました。市場では、日本と正反対で、汚く、くさくさとても独特な場所でした。これを見て思った事は日本はとてもマナーがしっかりしていて、とてもきれいな義務教育があるから、国もきれいなんだなと思いました。日本はとても安定した国だなと思いました。

そして、バガンの遺跡やお寺に行き、思った事は、ミャンマーは、まだ仏教を大切にしているなと思いました。あと、ミャンマーは歴史も奥深いんだなと思いました。そして、何よりも、ミャンマーの田舎の方は、生きる事に、必死で、かわいそうな人ばかりでした。僕は最後の遺跡について、バスから降りた時に、服もボロボロの赤ちゃんとそのお母さんが、死にかけて水を要求していました。バスに、もどって来ても、水を要求していたので、僕は、かまできません、おもわず

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井 蓮

年齢 12才

3/27(木)

バカン

No.2

水をあげました。その後の赤ちゃんと、お母さんの顔の表情が今でも忘れられません。

これを通して思った事は、人は助け合って生きていくという事と、命の大切さを学びました。

3/28(金)

マンダレー

No.1

まず、小学校の方へ行き、保育園を建てる所に、木のぼうを打った時に、日本とミャンマーの交流はすばらしいなと思いました。次に、お墓へ行き、戦争へ行って亡くなった日本人の事を考えると、とても悲しすぎて言葉になりませんでした。

やはり戦争は、いけないなと思いました。

そして、特に思った事は、家庭訪問の事です。

優しくして下さった、二人のおばさんの心の豊かさに、びっくりしました。やはり、ミャンマー人は、いっしょばかりだなと思いました。本当に、自分は、いろいろな人に恵まれて、生きているんだなとあらためて感じました。

あと、昼食、夕食の席のたんとうに指命され

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井 蓮

年齢 12才

3/8(金) マンダレ No.2

最初は「めんどうさいな」と思っていたんですけど、やってみて、みんな喜んで下さったので、「いやだな」とは感じず、「達成感」を感じ、とても嬉しかったです。やはり、役に立つ事は、いいなと思いました。

3/9(土) インレー湖

まず、水上ボートで、インレー湖へ行った時のボートからの景色が、とてもきれいですばしかったです。世界にはこんな場所があるんだと、とても新鮮に感じました。そして、保育園へ行った事が、一番心に残っています。ピアノカで、楽しそうに遊んでいる子供たちの笑顔にとってもいやされました。これを見て、笑顔の力とすばらしさを学びました。

## 《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井蓮

年齢 12才

3/30(日)

ヤンゴン

まず、ショッピングをしました。ひスイや宝石、  
しんじゅ、ネックレスなどいろいろなジャンマーならではの  
の、おみやげがたくさんありました。とても楽  
しかったです。そして、ジャンマーで歯の治療を行って  
いる、松本先生の話を聞いて思った事は、ジャン  
マーでは、歯を大セロにする習慣が、あまり  
知られていないので、はぶらして、みかいて  
予防し、広めようとしている事がわかりました。  
他にも、三菱商事の副社長さんの話を  
聞いて思った事は、今、ジャンマーが厳しい状態  
にあるからこそ、日本は、助けるチャンスがある  
という事と、ジャンマーには、今、技術が足り  
ないという事を知りました。

## 《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井 蓮

年齢 12才

3/31(月)

トンテ

6日目は、孤児院「ドリームトレイシ」へ行き、サッカーのリフティングを披露しました。

成功したのでよかったです。

そして、その後、サッカーで子供たちと言語合をしました。言葉は通じなくても、サッカーは、人と人をつなぐ力があることがわかりました。

とても楽しかったです。こういう時間をあたえて下さりありがとうございます。

あとたい焼きも250匹つくりました。

できたては、とてもおいしかったです。

一人ずつに、たい焼きを渡す時にみんな頭を下げたり、あいさつをしていくので、えらいなーと思いました。

氏名 今井 蓮

年齢 12才

まとめ

ぼくは、このミャンマーのツアーに参加させて頂いて特に思った事が3つあります。1つ目は、日本に住んでいる、あたりまえの日常の生活が、とても、せいたくに感じた事。2つ目は、ミャンマーの人たちは、日本人よりも、心がきれいな人が多い事。3つ目は、戦争の、いけなさです。戦争の恐ろしさと悲しさを実感しました。そして、僕は、英語の大切さ、命の大切さ、笑顔の大切さ、平和の大切さ、優しさの大切さなど、たくさん大切さを学びました。

あと、このツアーに参加された、かたたちにも、助けをもらったり、優しくしてもらいました。本当にありがとうございました。特に、ゆいねちゃんには、お世話になりました。

また、6年後に、このツアーに参加したいと思うので、その時は、よろしくお願ひいたします。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井 凜

年齢 12才

3/26 (水)

ヤンゴン



ヤンゴンに着き飛行機からおりると、日本の夏の時の温度くらい暑かったです。夕食会場にむかうバスの中では日本では見られない風景がたくさんありました。その中でも印象的なのは車がはしている道路に平気で人が歩いているということです。これにはぼくもびっくりしました。夕食会場に着き、最初に目に入ったものはカベにかいてある絵です。この日の夕食会場は、見わたすかぎりかべに絵が書いてありました。とちゅうで一つ年下のミャンマーの子が来ました。しゅみがサッカーだったのでとても気が合いました。ですがミャンマーの子が英語がペラペラでぼくに英語で話しかけてきました。ぼくは何を言ってるか分かりませんでした。英語を話せるようになりたいと初めて思いました。他にもたくさん日本では考えられないことがありますが自分は日本人であり、日本にすんでいることがとても幸せなことなんだなと思いました。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井 凜

年齢 12才

3/27(木) バガン、1

ヤンゴンからバガンの飛行機がプロペラ飛行機  
でした。初めてみたので、少し乗るのが楽しみでした。  
バガンの市場では、バスからおりたすぐに、現地  
の人が写真や物をすすめてきました。ことわりな  
ければついてくるなと思ったので、ぼくは思いきって  
「ノーサンキュー」と言って断りました。写真や物をすす  
めてくるのは大人だけでなく、ぼくより小さい  
子供もやっていました。自分より小さい子がやっ  
ているのを見てびっくりしました。市場の中では  
知んや工夫がたくさんありました。その中でも一番  
印象に残っているのが、赤ちゃんのゆりかごで  
す。屋根にゆりかごをひっかけ、おすとゆれると  
いう工夫がありました。赤ちゃんが泣いてもおす  
と、泣きやむので便利だなと思いました。  
そしてバスに乗ろうとした時、水をめくんで  
いる、カラッカラの赤ちゃんもちのお母さんがい  
ました。ぼくはたえられず水をあげました。これがあ  
まりよくないことなのかもしれませんが、ぼくは見て  
いられず水をあたえてしまいました。

氏名 今井 凜 年齢 12才

3/27 (木) バガン. 2

赤ちゃんはとてもうれしそうにのんでいました。  
それを見て、とてもうれしかたです。バガン遺跡亦  
に着きました。遺跡はつげなくてたくさんありま  
した。しかもそのサイズガー一つ一つ大きかたです。  
その中にもやはりくずれているものやこわれかけている  
ものがありました。遺跡の中にはとても大きな仏  
像が東西南北四つずつありました。昼食はバガン  
タワーの丸皆で食べました。窓から見える景色は  
とてもすばしかたです。遺跡がたくさんあること  
に改めて感じました。タワーの屋上からは麓見光ス  
ポットがたくさん見られました。夕食会場では人形  
劇を見ながら食事しました。人形劇はとても  
上手いですが、話のストーリーが分からなかつたため、あ  
まりおもしろくなかつたです。でも劇を見ながらの夕食  
なんて、とてもせいかくに感じました。二日目で感じたことは、  
ミャンマーのいながの方ではとても生きるのに必死  
な人たちがたくさんいます。こうして自分がおなかいっぱい  
に食べてねれるということはとても幸せなことだと思ひまし  
た。日本でたくさんおきている自殺などは、こんなに必死で生きよう  
といる人がいるのに、すぐなすけないとぼくは思ひました。

氏名 今井 凜

年齢 12才

3/28(金) マンダレー

マンダレーに着き一番最初に行った場所は、孤児院に行きました。その子供たちは、お父さんもお母さんもないのにとても元気がありました。ぼくはこんな世界があったことを知り、びっくりしました。

インパール作戦戦没者慰霊塔参拝に行きました。ミャンマーの人は戦争で生きのこっている日本人をかくして、助けくれたそうです。同じ日本人としてとてもありがたく思いました。三日目の最後に行った家庭訪問ではニトクエーちゃんのお姉ちゃんたちはとてもやさしくしてくれました。とてもうれしかったです。ミャンマーの人たちはやさしい人ばかりでとてもいい国だと思いました。これを通して思ったことはぼくはいろいろな人に助けられながら、いろいろな人に見守られながら、生きているということも改めて感じました。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井 凜

年齢 12才

3/29(土) ヘーホー

3日目で一番心に残っている出来事は、保育園  
に行ったことです。ミャンマーには保育園や学校はぜん  
ぜんないため、日本とくらべて、子供の知能は  
とてもひくいそうです。それで日本ミャンマー豊友会が寄付  
し、いろいろな会社からぼきんしてもらい保育園を建て  
たそうです。とてもすごいことをしてるなと思いました。  
その保育園には30人くらいいました。英語やビルマ  
語だけでなく、日本語も勉強しているそうです。保育園  
で英語を勉強していることにびっくりしました。自分の  
ピアニカをプレゼントした。みんなとても楽しそうにあ  
そんでいました。ぼくがびっくりしたのは取り合いに  
なるのかな?と、思っていました。子供たちだけで  
しゃんばんに回して遊んでいたことです。すばらしい  
なと思いました。その場所ではごみがたくち  
すてられていました。日本とはちがい、ごみをゴミ箱に  
捨てるというしゅうかんがないため、ポイ捨てがた  
くさん見られました。日本ミャンマー豊友会からゴミ箱を  
寄付しました。これでもゴミ箱にゴミを捨てるしゅ  
うかんができたらしいなと思いました。またポイ捨て  
は悪いことなんだよと分かってくれたらもっといいと思いました。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井 凜

年齢 12才

3/30(日) ヤンゴン

5日目はいろいろな観光スポットに行きました。

最初に行った場所はとても大きな仏像がある

場所でした。仏像のまつげだけで30cmほどあり、

全身も奈良の大仏より大きいぐらいの大きさでした。

こんなに大きな仏像をどうしてつくったのかきま

んにおもいました。次にパゴダに行きました。パゴ

ダの周りには小さな仏像がたくさんありました。ほく

がそうぞうしていた以上に大きかったです。夕食会

場では、これからのミャンマーについて三菱商事の副社

長さんが話しました。そのことをきいて思ったことは

まだミャンマーには技術がたりなく、いい宝石やオイル

がとれても、それをどうしたらいかが分からず、またその

価値が分からず、外国からすごい安い値段で買わ

れている。とてももったいないと思いました。日本は

これをきかいにミャンマーを助けられたらいいと思っ

ました。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井 凜

年齢 12才

3/31(日) ヤンゴン

最終日のこの日には、ジャパンハートの子供養育  
施設「ドリームトレイン」に行きました。ここではほく  
のリフティングをひろうしました。すごいきんちょうしたけ  
ど成功してよかったです。その後たい火売きを一人  
一個くばりました。ほくがすごいなと思ったことは  
たい火売きをくばった時に、一人一人が頭を下げ  
てもらっていったことです。その後みんなでサッカー  
の試合をしました。しゃべってる言葉は分からないけ  
ど、なんとなくコミュニケーションがとれました。サッカーの  
おかげで帰るころには、すっかり友達になれました。  
やっぱりスポーツの力はすごいと思いました。わ  
かれる時はすしさびしかったです。

氏名 今井 凜

年齢 12才

まとめ

今回のツアーを体馬灸に思ったことは、日本であたりまえなことではけしてあたりまえではない。というのは日本ではあたたかいお湯が出ますが、ミャンマーではあたたかいお湯は少しの間でしかでないなどたくさん、日本ではあたりまえなことがあたりまえじゃないところがあります。またミャンマーの人たちはとても心がきれいだと思いました。そして軍争はやっほりせたいにしてはいけないと思いました。

今回このツアーに参加したかたがたもとても親切にしてくれたり、やさしくしてくれました。本当にありがとうございました。またガイドのモーさんも、とてもやさしくしてくれました。モーさんのおかげで、とても楽しいツアーになりました。6年後またミャンマーに行くときも、ガイドはモーさんにお原真いしたいと思いました。そして、ゆいねえちゃんといっしょにトランプをしたことが、とても楽しかったです。今回このツアーに来て本当によかったと思いました。ありがとうございました。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名

今井 志

年齢

9才

3/26水

ヤンゴン



成田からヤンゴンに着くととても暑かったです。

外に出て見ると昔の日本の車が走っていてびっくりしました。

バスに乗って夕食会場に向かいました。

夕食を食べる店の店員さんが日本語の「こんばんは」「ありがとうございます」などの日本語をしゃべっていてすごいとおもいました。

夕食のごはんは食べれましたけどあまりおいしくありませんでした。

夕食の時に小学生の男の子がいていろんな言葉を聞いてびっくりしました。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井志 年齢 9才

3/27(木)

バガン

飛行機でバガンに着いてバスに乗って  
6つのお寺に入る時にはだしになってすな  
なごあふむときはいたくてとても暑かった  
です。

昼食のごはんはすべて食べられる物を  
でとても安心しました。

その次に市場に行っている色々な物  
見たるくさっている物などがいっぱいあ  
りました。

小さなお花畑園見も店の手つだいをし  
てすごいい思いました。

夕食の前にとても高いシュエサンバーのバ  
ヤーというところに登って太陽がしずむとこ  
ろをちゃんと見たことがなかったけどちゃんと見る  
ことができました。

夕食はマリオネットを見ながら食べまし  
た。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井志

年齢 9才

3/28(金)

マンダレー

マンダレーに着いてバスに乗って孤児院  
に行きリコーダーなどをプレゼントをして  
校長先生が喜んでいてとてもうれしかった  
です。

昼食会場に向かう時おみくいを引いて大吉  
が当たりました。

大吉が当たってかんぱいのあいさつをし  
ました。

食事の後船を見にいてネスジの穴など  
を見つけました。

その次に王宮見学をしました。

金色のお皿やかべなどを見てとても  
すごいと思いました。

夕食の時に坂田さんという人ととても  
仲が良くなりました。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名

今井志

年齢

9才

3/29(土)インレー湖

ヘーホー空港からバスでポート  
乗り場に向かいてポートに乗って走って  
いる時はすずしくてねむりやすくて  
とてもよかったです。

昼食は苦味な物もありましたか  
食べられました。

その次にボートで保育園へ行き小さい  
子と遊んだりドラムを演奏して  
いる子がいました。

夕食のごはんは食べれる物は少  
なかったけどデザートはとってもお  
いしかったです。

夜はみんなでランプをやってとても  
楽しかったです。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井志

年齢 9才

3/30(田)

ヤンゴン

まずヤンゴンに着いて昼食を食べました。

その昼食は日本食と少し味が似ていておいしかったです。

その次はおみやげを買いに行きました。

ぼくが買ったのは小さいハーブです。

夕食はおいしかったのですが食べる物がとても多かったです。

夜はまたみんなでトランプをしました。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井志

年齢 9才

孫(甲)

ヤンゴン

バスでトンテまで移動してサッカーボールなどをプレゼントしました。そしてバスでヤンゴン市内に移動しました。

昼食は少しおいしかったけど苦手な物も多かったです。

その次に孤児院に行ってピアノやリコーダーなどをプレゼントしたあとにみんなで分けあってたい焼きを食べました。

その後スーパー銭湯に入ってもさっぱりしました。

《第19回ミャンマースタディーツアー 感想文》

氏名 今井志

年齢 9才

まとめ

最初はとてもおいましくなかったけどだんだんしぜん楽しくなってきたのがあってとてもよかったです。一月目の時みなさんが気を付けてくださっていることが分かりとても感しゃしています。

ミャンマーはとてもやさしい人はかりで安心しました。

日本でかんたんに行けることがミャンマーではとてもやりにくくむずかしいです。

あたりまえのことがとてもありがたくおもえてきました。

とてもいいいけんになりました。

